

よなばる 議会だより



 住みやすいまちへ—あなたの声をとどけます



まつりの
士気を高める
旗頭



旗頭に欠かせない 「クービ採り」

6月7日(日)本島北部恩納村

2026 (R8) 8/15日(土)・16日(日)

第44回 与那原大綱曳まつりへ向け結束を高める — 大綱曳まつり実行委員会 —

※クービ(ツルグミ)は「旗頭の装飾」に欠かせない重要な材料です。しなやかで、折れにくい性質を持っています。採取したクービの枝葉にあらかじめ梅の花などをかたどった紙を丁寧に貼り付け当日の旗頭の周囲を彩る装飾品へと仕立て上げます。

P 2 令和8年度 予算質疑

P4~15 3月定例会 一般質問

P 3 令和8年度 一般会計予算
令和7年度 政務活動費使途報告

P 16 ヒーロー・ヒロインインタビュー
まつかわ 松川 そら(江口区)那覇国際高校陸上部3年生



新年度予算に議員から厳しい指摘!



令和8年度予算を、本会議及び各常任委員会で3月9日から3月19日までの9日間にわたり審査しました。令和8年度与那原町歳入歳出予算は113億3,585万5千円(対前年比2.6%増)となっており、審査の結果すべての予算を全員賛成で原案のとおり可決しました。

総務財政常任委員会

防災・防犯カメラの設置や要介護者向けの防災備品の購入を!

■緊急防災・減災事業債

質問 相羽議員

減額になっているので、防災・防犯カメラを増やすとか、要介護者のための備品が少ないので購入するなど、もらえる補助金を増やしてほしい。



回答 財政課

重要な視点なので、使用できる財源について、生活環境安全課と協議しながら、しっかり使っていきたい。

■防犯対策事業「緊急防災・減災事業債の活用」

質問 相羽議員

緊急防災・減災事業債で防災・防犯カメラが設置できるので利用できないか。

回答 生活環境安全課

令和5年度に活用し、カメラを設置している。今後の設置場所は更新時期に検討する。

財政調整基金のあり方

■財政調整基金繰入金

質問 志村議員

財政調整基金はいくら必要か。目的基金にしていくべきでは。



回答 財政課

標準財政規模の20%は必要。町としては30%必要と考え、最低でも8~9億円必要と考える、調整基金は10億円を保持しつつ目的基金への積み立てを目指す。

建設文教常任委員会

各担当課へ3件の要望

ブランド推進課

■商工業振興事務運営事業「つなひきかちゃん商品券」について

喜屋武議員

1. 「つなひきかちゃん商品券」事業は、物価高騰の支援が趣旨であることから、幅広く利用店舗を募集し、食料品関係だけではなく建築関係や水道料金など、住民が使い勝手の良い事業展開をしていただきたい。

学校教育課

■部活動指導員配置事業

船谷議員

2. 中学校の部活を地域展開するにあたり、その後も優先的に学校施設を使用できるようにしていただきたい。

交通・インフラ実証実験の評価と課題

■交通環境構築事業「シェアサイクル実証実験委託」

質問 仲里議員

町民ニーズが低いのではないか。不透明の中、採算性が見込めない。事業としてやっていけるのか確認が必要。

回答 企画政策課

毎月600件の利用があり町民ニーズはある。採算性については資料を要求し回答する。

■新しい公共交通検討事業「福祉バス実証実験事業」

質問 志村議員

一括交付金で賄ってきた事業で来年度は見直しの時期である。課題と目標、バスの台数増などは。また、民営化については。

回答 福祉課

課題は「1周あたりの時間が長い」「バス停が近くにない」など。今後、時間の短縮とコースを見直し、次年度で台数と人員を増すか、検討する。民営化は内部で調整・検討していくが、まだ課題があり実証実験は継続していく。

5歳児健診の実施と子どもの貧困対策

■母子保健事業「5歳児健診について」

質問 志村議員

5歳児健診が予算に組み込まれていないが、今年度の実施は。

回答 健康保険課

現状では健診実施の体制は整っていない。現在実施している乳幼児健診で早い段階で、発達について発見する体制を整えたい。



■子供の貧困緊急対策事業

質問 相羽議員

経費を使っている団体と使っていない団体があるが、必要などところに予算を配分して補助を出せないか。

回答 子育て支援課

当初の募集内容が上限300万円。当時と比べて人件費、食材費、家賃等が値上がりしている。上限の確認、検討が必要。

生涯学習振興課

■保健体育事務運営事業

喜屋武議員

3. 島尻郡体育協会負担金について、島尻郡体育協会の運営方法の在り方について(負担金を減らす方法など)改善に向けて取り組んでいただきたい。

令和8年度 一般会計予算 2億9143万円(増)

会計項目	令和8年度	令和7年度	増減額	増減率(%)
一般会計	113億3585万円	110億4442万円	2億9143万円	2.6
国民健康保険特別会計	21億1682万円	22億1857万円	△1億0175万円	△4.5
後期高齢者医療保険特別会計	2億7517万円	2億5720万円	1797万円	6.9
下水道事業会計	11億7372万円	7億5506万円	4億1866万円	55.4
水道事業会計	8億1416万円	7億4315万円	7101万円	9.6
合計	157億1575万円	150億1842万円	6億9732万円	4.6

議案「第58号」与那原町国民健康保険条例の一部を改正する条例 ※誤記載に対するお詫びと訂正

(誤)全会一致で可決 → (正)賛成多数で可決

令和8年3月1日号(148号・2ページ)令和7年第4回定例会(12月議会)の賛否表で、誤りがございましたので訂正してお詫びをいたします。

反対討論

〔宮里議員〕町民のために何とかしたいが、国の政策上厳しくそのまま推進ということに反対。
 〔知念議員〕支出抑制の工夫が足りないと思う。また、改定する以上もっと具体的な説明が必要。

賛成討論

〔喜屋武議員〕保険体制について市町村首長が連携し国に改善要請していくことが大切。町としては繰り入れをする厳しい財政面を考えると仕方ない。
 〔新垣議員〕今のままでは令和11年に保険税が跳ね上がり住民の負担が大きい。それを軽くするために今から徐々に上げていく必要がある。

議決結果	議員名												
	船谷政喜	相羽としえ	志村幸司	新垣真一	古堅亮吉	諸見里史子	宮里武志	松長康二	知念正成	仲里賢次	城間優希	町田元利	喜屋武一彦
原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○



政務活動費って何に使っているの？

<p>当真 60,000円 町民の声を聴く事務所費用の一部に使用しました。</p>	<p>宮里 51,680円 議員研修(沖縄住民自治研究所)、活動報告新聞製作代、事務(文具)費に使用しました。</p>	<p>喜屋武 26,040円 事務(テーブル、椅子)購入費に使用しました。</p>
<p>仲里 57,675円 事務所費用の一部と新聞購読代に充てました。</p>	<p>諸見里 44,900円 新聞購読代、事務(文具)費に充てました。</p>	<p>町田 51,999円 新聞購読代と事務(文具)費に充てました。</p>
<p>新垣 63,462円 新聞購読代、書籍代、事務(文具)費として使用しました。</p>	<p>知念 51,896円 新聞購読代と資料(地方議会人)、事務(文具)費として使用しました。</p>	<p>相羽 210,690円 広島の平和教育、防災のための北九州市NPO法人「好きっちゃ北九州」、資料館の魅せ方として博多歴史館の視察と、1年の活動報告リーフレット作成に使用しました。</p>
<p>船谷 61,762円 平和教育として、鹿児島県知覧特攻平和会館と西郷隆盛洞窟の視察に使用しました。</p>	<p>城間 今年度は使用せず。</p>	<p>志村 94,026円 沖縄の防衛に関して与那国島ミサイル配備地視察と、資料(地方議会人)購入費として使用しました。</p>
<p>松長 今年度は使用せず。</p>		

政務活動費とは…

政務活動費とは地方議会の議員に政策調査研究等の為に支払われる費用のこと。与那原町議会は5,000円×12ヶ月=60,000円(●新人議員は50,000円)まで ※超過分は自己負担となる。

対象とならない経費とは…

交際費、政党の活動費、会議を伴わない飲食費、レクリエーション費、選挙活動費、専門誌以外の新聞代、町政に係わらない視察費など。

質問 トーチカの仮設歩道が完成 今後の活用方法は

答弁 運玉森平和学習広場を含めた平和教育への活用を進める — 生涯学習振興課長



生対象に総合的学習の中で、中学校は1年生対象の総合学習探究活動の中で活用を検討。全体教育については持ち帰り吟味する。



戦争の記憶を残す「トーチカ」を平和教育の活用!

仮設歩道が設置されたトーチカ

り組んでいるか。

大浜教育指導主事 特設授業を

開き全学年に啓発を行った。また、小学校5年生及び6年生を対象に薬物乱用防止教室を開催。小・中学校の保護者へは、同指導への協力願いの文書を出した。教育長は学習実践発表会などで注意喚起を行った。

照屋健康保険課長 現在、厚生労働省が掲げる「ダメ。ゼッタイ。」の普及運動で、庁舎内でのポスター掲示などを行っている。そして、新たに懸垂幕とのぼりの準備を進めており、各区にも「のぼりやポスター」を掲示し周知徹底を図っていく。

大浜教育指導主事 小学校では、同調査において上がってきた課題を全職員で共有、分析、解決する校内研修を実施、中学校では基礎内容の定着を図るためリソースルームに取り組んでいる。

子どもを危険ドラッグから守る取り組みを

質問 危険ドラッグはすぐそばにあるというのが現状だが、どう取



数学力の向上を

質問 デジタル技術を擁する第4次産業革命の中、論理的思考に結び付く数学力が国力に影響すると言われるほど重要になってきたが、全国学習状況調査によると本町は県平均を上回るが全国平均とは開きがある。対策は考えているか。数学の専門家を入れた検討会を立ち上げてはどうか。

大浜教育指導主事 小学校では、同調査において上がってきた課題を全職員で共有、分析、解決する校内研修を実施、中学校では基礎内容の定着を図るためリソースルームに取り組んでいる。



「リソースルーム」とは…学習のつまずき解消や情緒安定のために一時的・定期的にご利用する別室。

垣花教育長 現代における国力については、人間中心の総合力という見方が強まっている。数学だけでなく語学力やコミュニケーション能力なども重要であり、特に数学だけという対応は考えていない。

質問 トーチカの仮設歩道が完成したが、どう活用していくのか。駐車場対応は考えているか。また、学校での活用はどうお考えか。全体への教育も必要だと思いませんか。

与那嶺生涯学習振興課長 これまで実施してきた町民平和の日の事前学習及び慰霊の日平和企画展での活用を継続、また、運玉森平和学習広場を含めた平和教育への活用も検討する。駐車場については近隣企業の協力を得るなど調整をしていく。

大浜教育指導主事 小学校は6年

町政へここが聞きたい!



質問 小・中学生向けに自転車安全教育の実施は

答弁 与那原警察署と連携し 交通安全教育に取り組み — 学校教育課長

質問 自転車安全教育はどのくらいの頻度で実施しているか。

山城学校教育課長 小学校に關しては年1回実施している。新1

年生を対象に与那原警察署と連携し、自転車も含め、交通安全指導教育を実施している。また、小・中学校においても長期休みに入る前に「しおり」などを配布し、交通安全に関する注意などの周知を行っている。

質問 2026年4月1日から自転車にも青切符制度が導入され、違反行為に対し反則金を支払

2026年4月～ 対象:16歳以上
自転車に青切符導入!

ながらスマホ 12,000円 ※今すぐ厳罰化!	信号無視 6,000円
イヤホン運転 5,000円	逆走(右側通行) 6,000円

青切符(軽い違反) → 反則金納付 → 前科なし(解決)
赤切符(重大違反:酒酔い等) → 刑事手続き(前科の可能)

うことになった。16歳以上が対象だが、小・中学生にも周知したほうが良いと思うが。

山城学校教育課長 道路交通法

改正の背景に近年、自転車の事故や危険運転が増加していることが挙げられると考えている。学校現場においても提案があり、周知も含め与那原警察署と連携し、小・中学生へ交通安全教育を取り組んでいきたいと考えている。

質問 「交通安全共済」加入募集方法について、どのような周知を行っているか。

岡総務課長 毎年2月号の広報よなばるへの掲載、町公式LINE、

ホームページ、ポスターやチラシの掲示や配布などを通じ、広く町民の皆様へお知らせをしているところである。

質問 周知のために卒業式・入学式の式場で申込書を配布しては。

岡総務課長 教育委員会と意見交換を行きたいと思う。

万が一の備えに 家族で加入しよう! 交通災害共済

交通災害共済

夜間パトロールの強化

質問 深夜徘徊、薬物使用の低年齢化の観点から、パトロールの強化が必要だと考えるが。

与那原生涯学習振興課長 生活

環境安全課と調整を行い、危機意識、緊張感を持つて事件事故、危険薬物から青少年を守る夜間パトロールの実施に取り組む。

西原方面交差点の 交通渋滞の緩和を

質問 ゆめなり橋通り、マリンプラザダイソー裏のパークゴルフ場から交差点に向かうと、西原町方面への右折車が多く、直進車が通過できず渋滞になる。対策は考えているか。

吉野生活環境安全課長 町としては確認している。与那原警察署と連携を図りながら、当該交差点における交通の安全と円滑な通行の確保に向け取り組んでまいりたい。



その他の質問

● 町内バス及びマイクロバスの運転手について

質問 高校生通学支援の事業内容とは

答弁 通学定期券購入額に2分の1を補助している — 学校教育課長



質問 町内高校生などが町外の学校へ通うための「通学支援事業」について、内容を伺う。

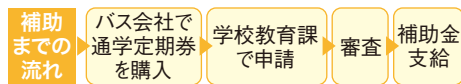
山城学校教育課長 町外の高校へ

路線バスで通学する町内在住の高校生などが、安心して通学できるよう定期券購入費用の2分の1を補助している。



バス通学定期代の補助内容

通学定期券購入にかかった費用の半額
対象期間: 令和8年4月1日～令和9年3月31日



- 条件
- 町内在住の中・高校生。通学定期券を利用し町外高校等へ通学している。
 - 通学定期券の区間が与那原町内のバス停である。
 - 当該定期代に関し、他の公的補助を受けていない。
 - 町税等に滞納がない世帯。

学校教育課 ☎945-2361

不登校要因の解決を

質問 令和6年度の町立小・中学校の不登校児童数と原因について伺いたい。

大浜教育指導主事 令和4年度

は小学校(40人)、中学校(59人)合計99人。令和6年度は小学校(59人)、中学校(88人)合計147人である。原因として、ADHDの特性による集団適応の難しさや感覚過敏による校内環境への適用の難

しさが原因と思われる。

質問 不登校児童生徒を増やさないために指導主事を2人制にし、対策を解決できないか。

垣花教育長 令和8年4月から指導主事は2人になる。

「家なれ運動」先人の教え地域で活かそう

質問 県の事業で「家なれ運動」 「親の学びあい」の内容とは。

大浜教育指導主事 家庭での習慣が社会での振る舞いの基礎・基盤になるという「黄金言葉」で、家庭教育支援の推進を目的とした施策である。コロナ禍により、時代が変わり、人との付き合い方も変わったという中で、先人の教えも受け入れながら、どのように取り入れていくか慎重に対応していく。

垣花教育長 「家なれ運動」は10年前から始まっている施策で、小・中学校でも活用していきたい。

質問 学校、区長、民生委員児童委員と連帯で進めてほしいが。大浜教育指導主事 児童生徒の不登校改善のためにも対応したい。



「やーなれーるふかなれー」3つの取り組み

- 基本的な生活習慣を身につけましょう
 - 家族のコミュニケーションを大切に
 - 家庭学習の習慣を、家庭を学びの環境に!
- 家庭で
- 大人は子どもの手本
 - 子どもにさまざまな体験を
 - 家族そろって地域の行事に参加しよう
- 家庭で
- 幼児児童生徒への声かけ
 - 家族との連携を密に
 - 常に愛情を持って

その他の質問

- 教科担任制とチーム担任制について
- 小・中学生の目の健康について (タブレットやゲーム機などの利用時間制限の取り組み)
- 町営住宅の保証人制度を廃棄した後の家賃滞納の現状は

「沖縄県公式HP」より

町政へここが聞きたい!



議員 吉 亮 亮 古

質問 上与那原地区都市計画の進捗状況は

答弁 地権者からの同意取得を進めている — まちづくり課長

質問 上与那原地区の都市計画はここまで進んでいるのか。

金城まちづくり課長 上与那原まちづくり事業の基本計画に基づき、地権者から同意取得を進めている。

質問 以前の計画(平成14年頃)、土地区画整理事業が頓挫した理由と経緯は。

金城まちづくり課長 地権者による組合組織で、区画整理事業を実施しようとしたが、組合設立には至らなかった。土地の減歩が多く、地権者の負担が大きかったことが



上与那原周辺地区 位置図 ※対象区域は現時点での想定区域です

原因である。

質問 「区画整理事業」から「宅地開発事業」になり、4回アンケートをとったが、その後の進捗状況は。

金城まちづくり課長 相続の未完了や連絡が取れない方を除いて約85%の地権者と個別にやり取りし、約62%の方から事前同意書を取得している状況である。また、本事業に必要な金融機関やハウスメーカー、商業施設事業者への調査を進めている。

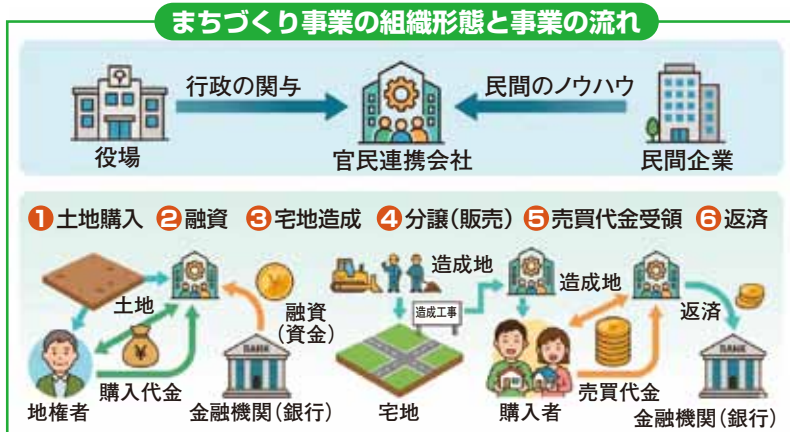
質問 用地買収は、調整区地域から市街化区域に変更した値段で買っていると聞いているが。

金城まちづくり課長 用地取得人の単価に関する考えは、上与那原メーンカー線と4号線がメインの道路で、そこに接しているかどうか。また、この土地に入口がなく、袋地になっていないか。土地形状(急傾斜や平坦地など)を考慮し、区域を一体的に捉え、市街化調整区域の時点、現在の価格を出し、その価格を市街化区域に編入した場合はどうなるか加味し、不動産鑑定士の意見を取り入れ単価を決定する。

質問 この事業を行うために株式会社を設立すると聞いたが、どのような内容か。

金城まちづくり課長 民間にまかせる場合と、役場単独で行う場合とでは、メリットとデメリットがあり、その中で一番良いのは民間を活用し、役場も関与できる官民が連

携できる会社組織が理想的である。民間会社が地権者から土地を購入し、金融機関から融資を受け、宅地造成を行い、分譲後の売買代金で返済する仕組みである。設立に向け内容を精査し、協議を通じて決定する。



その他の質問

● 「見える化」による健康づくりの状況

● 部活動の地域展開

質問 「ゴミと渋滞だけが残る」最悪なシナリオ回避を

答弁 10年の停滞に終止符を、これが最後の覚悟で県に訴える — 町長



議員 中里 賢次

めには、MICE開催時以外の稼働率をいかに担保するかが最大の鍵である。民間事業者が二の足を踏まない為にも、用途制限の緩和や複合利用、一定の稼働率が下回った場合、補償やホテル整備の一部を補助し、投資利回りを向上させるなどの大胆な条件整備が必要と考えているが、県に対する本町の考えは。

照屋町長 ホテルとMICE施設にタイムラグがある場合における損失は大きい為、アフターMICEの対策やBブロックの活用な

質問 宿泊施設が整備されない場合、滞在型消費や雇用機会の創出が失われるだけでなく、数万人規模のイベント開催に伴うゴミと渋滞だけが残り、町にお金落ちないという最悪のシナリオを懸念しているが、具体的な対策は。

饒平名企画政策課長 早期の与那原バイパス4車線化や立体化、県道系満与那原バイパス整備の要請だけでなく、新たな公共交通を整備し、渋滞緩和や利便性向上を図りたい。

質問 ホテル事業を成立させるた



与那原交差点の渋滞状況 (事業評価監視委員会審議資料より抜粋)

交通渋滞の緩和を早急に!

どしつかりと考えていく。MICE誘致決定後、この10年間いまだ手つかずの状態であり、今回で3回目の公募を迎える。県に対しては仲里議員からの提案を含め、これが最後だと力強く訴える。

都市モノレール 延伸について

質問 町民アンケートでは、「自動車に代わる公共交通」として最も多かった回答は、前期・後期ともにモノレールとなっており、全体の3分の1を占めている。今まで具体的検討を行っていないのは町意向を政策形成に反映されていないと考えるが、なぜ今まで検討をしていないのか。

饒平名企画政策課長 今後、県の次世代交通ビジョンの動向を注視し、南部市町村連携交通会議などの場を活用しながら広域的な視点で検討していく。



公共交通としてモノレールの延伸を!

沖縄都市モノレール延伸のイメージ(ゆいレールHPより抜粋)

つつしむらやの維持管理について

質問 当該施設は避難場所に指定されており、日頃の維持・衛生管理が必要だが、区の財政では費用捻出が厳しい状況の為、消防点検以外の各種点検、診断についても町で負担できないか。

具志堅福祉課長 修繕等については区と調整の上、町負担で実施している。また、維持管理等については、今後、区の財政的な負担を確認しながら、協議を行いたい。

町政へここが聞きたい!



みやざき 志 議員

質問

国保増税 連続引き上げをやめよ

答弁

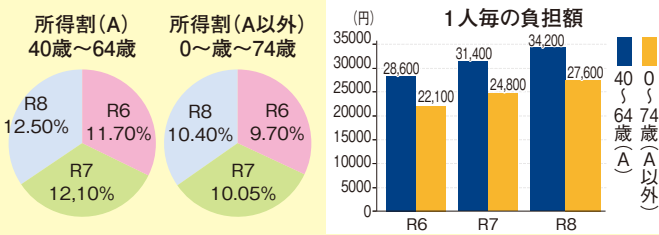
県の国保統一化に向けて年度ごとに少しずつ上げていく——町長

質問

国民健康保険税は令和7～8年度の連続値上げに加えて、4年連続値上げの計画だ。町長は県の国保統一化となる令和11年度に向けて少しずつ値上げすると言う。本員は、加入者の低所得実態と昨今の物価高騰や、時の政治による国保政策の後退に伴う税負担の困難性を示して、今後の値上げをやめることや低所得層への手当などをくり返し求めてきたが、前進が見られない。政治家(町長)はここにこそ光を当てるべきであるから、改めての答弁を求める。

令和6～8年度の増税内容 (%増)は前年比

	40～64歳(A)	0～74歳(A以外)
令和6年度所得割	11.70%	9.70%
同 一人毎(円)	28,600	22,100
同 世帯毎(円)	32,100	27,500
同 課税限度額	106万円	89万円
令和7年度所得割	12.10% (3.4%増)	10.05% (3.6%増)
同 一人毎(円)	31,400 (9.8%増)	24,800 (12.2%増)
同 世帯毎(円)	33,600 (4.7%増)	28,000 (1.8%増)
同 課税限度額	109万円 (2.8%増)	92万円 (3.4%増)
令和8年度所得割	12.50% (3.3%増)	10.40% (3.5%増)
同 一人毎(円)	34,200 (8.9%増)	27,600 (11.3%増)
同 世帯毎(円)	35,100 (4.5%増)	28,600 (2.1%増)
同 課税限度額	110万円 (0.9%増)	93万円 (1.1%増)



※令和8年度は「子ども支援金」が別途上乗せされ、0～18歳全員の「一人毎27,600円」がゼロとなる。

照屋町長 困窮・低所得世帯には非常に負担が大きいと重々承知しており、丁寧な納付相談などを実施しながら増税は予定通り進めていく。また、国が財政支援をしつかりやることは当然であり、私も県や国保連合会とも連携して国に訴えていく。

提言

値上げに頼らず医療費を小さくする方策は、例えば健診率の向上で健康寿命を延ばすなど、お互いが加入者の立場で知恵を出し合える関係で進めてほしい。また、法定外繰入もその必要性を考慮していただきたい。

「公契約条例」を

賃金条項型で

質問

沖縄県は公契約条例を制定しており、与那原町でも実現したいと希望している。県条例は「理念型」であるが、本員は「賃金条項型」が公共事業発注元の本町・受注企業・労働者の三者にとって良いサイクルになるものと考えている。現時点で、本町の公契約条例に関する考え・スタンスなど今後に向けての見解を伺う。

宮平会計課長

適正な労働条件の確保は重要な視点だと認識している。導入については、事業者や労働者への事務負担、費用対効果、他自治体の動向などを総合的に検討する必要があり、現時点は研究、情報収集など慎重に検討したいと考えている。

沖縄県の基本方針 (理念型)

現在、沖縄県が施行しているのは「理念型(基本条例型)」と呼ばれるものである。
【特徴】特定の「賃金下限額」を義務付けるものではなく、県と事業者が協力して「適正な賃金の支払い」や「労働環境の整備」に努めることを定めている。

質問 町立図書館の活用と「知の拠点づくり」を

答弁 町民が学び合える場となるよう工夫する — 生涯学習振興課長



議員 喜 政 谷 帆 正

オリオン通りの活性化と防犯対策

質問 「オリオン通り」の活性化

は、高齢者の孤独解消や情報交流の拠点となっている。「にぎわい」を創出しつつ、「安全」を守る施策が必要である。街の彩りと防犯対策を兼ね、「提灯の設置」を提案したい。提灯に企業のスポンサーを募るなど方法はあると思う。また、最近発生している治安上の懸念に対し、どのように対策を講じていくのか伺いたい。



企業の提灯で街を彩り活性化に繋げよう!

質問 町立図書館は「生涯学習の拠点」であり、現状は手狭であるという物理的な課題について、どのように考えているか。単なる施設を拡張だけでなく、今ある環境を工夫し、イベントなどを通じて町民が主体的に集まれる「知の拠点」とするためのソフト面の充実について、町の考えを伺いたい。

与那原生涯学習振興課長 現在実施しているサービスを継続・発展させるとともに、限られたスペースを有効に活用し、町民が学び合える場となるよう工夫していく。

桑江ブランド推進課長 活性化と

安全の両立は重要課題である。提灯の設置による環境整備も含め、イメージを損なわないよう社交組合と相談しながら検討する。

住民生活と調和した民間工事の騒音対策

質問 現在、早朝・夜間の工事騒音に

関するトラブルが発生し、住民の日常生活に支障をきたしているケースが見受けられる。着工前に住民説明の義務化を、住民の「住みよさ」のために他自治体同様に、本町においても、独自基準や条例制定を検討すべきではないか。

吉野生活環境安全課長 現在、騒音規制法に基づいた指導を行っているが、工事騒音が近隣住民の負担になっている。「住みよさ」を維持・向上させるため、独自条例の制定や、基準作りを前向きに検討を進めていく。

「キャリア教育」の深化と本質の追求



キャリア講話の様子

質問 子どもたちが「キャリア教育」に情熱を持って取り組んでいる。現在、教育現場では「キャリアパスポート」の活用や社会人講話が行われているが、これを単なる「職業調べ」という形式的なものに終わらせてはいけないと思う。自分が携わる組織の方向性を見極める力と、課題を深掘りする力の両方を養うべきだと考えるがいかがか。

大浜教育指導主事 キャリア教育において、働くことの意義や組織の理念に触れることは非常に重要であると考えている。子どもたちがより深い視点で社会を捉え、自立と感謝の心を育めるよう、教育現場での取り組みを支援していきたい。

町政へここが聞きたい!



しん がき しん いち
新垣真一 議員

質問 多機能型交流拠点として道の駅構想を!

答弁 財源・維持管理等を含め 設置可能か検討したい — 副町長

質問 MICE施設が決定した場合、観光振興や地域活性化に向けた受け皿づくりについてどのように考えているか。

桑江ブランド推進課長 観光実施計画や観光ビジョンの計画に盛り込み、アフターMICEメニュー開発やまち歩き体験、水路や与那原マリーナを活用した体験型メニューなどを実施してきた。また、

町内各施設や史跡などを案内する看板を多言語表示化し、ガイドブックも5カ国語で作成した。

質問 県内では10カ所の道の駅が

整備され、観光客のみならず多くの県民が利用する地域活性化の拠点となっている。本町でも道の駅の整備を検討する考えがないか。

桑江ブランド推進課長 平成29年に一括交付金を利用して事業を推進する予定だったが、御殿山の整備と親川の整備が先になり、道の駅に関しては、計画段階で止まっている。

質問 改めてMICEも絡めた地域活性化の拠点として、再度検討する価値があると思う。さらには災害時の防災拠点を兼ねた多機能型交流拠点としての道の駅構想を検討できないか。

城間副町長 道の駅、物産館、防災拠点となると、高台に整備する必要はある。与那公園の上ならば、計画としては可能かと思っている。国の補助率や運営の原資、維持管理、様々な課題があるが、設置可能か検討を進めたい。

「防災道の駅」について

都道府県の地域防災計画等で、広域的な防災拠点に位置づけられている道の駅について、「防災道の駅」として選定し、防災拠点としての役割を果たすための重点的な支援を実施



てんかん発作時の対応は

質問 てんかんなどの疾患を持つ児童生徒の把握状況と、発作時の対応体制はどのようなになっているのか。

大浜教育指導主事 小・中学校あわせて10人の児童が、てんかん症状があると報告されている。発作

発生時には発見者が周囲へ周知し、養護教諭や管理職と連携して、躊躇なく救急車を要請する。日頃から迅速かつ組織的に対応できる体制を構築している。

質問 口腔用液ブコラムの投与について、どのような対応方針となっているのか。

大浜教育指導主事 必要な児童が在籍するとなった場合は、保護者を交えてケース会議を行い、対応策について話し合いを持つ必要がある。

質問 研修やマニュアル整備はどのように行われているか。

大浜教育指導主事 専門家によるてんかんやアレルギー研修を年度初めに実施している。対応表の掲示により全職員で情報を共有している。

ブコラム®とは?

「てんかん重積状態」の発作を止める効果が期待できるお薬で、介護者の方も投与することができます。*

*1 生後3~6か月のお子さんの場合は、医師のもとで投与する必要があります。

口の中(歯ぐきと頬の間)にゆっくりと全量注入します。

3か月 ^{※2} 1歳未満 (0.5mL)	1歳~ 5歳未満 (1mL)	5歳~ 10歳未満 (1.5mL)	10歳~ 18歳未満 (2mL)
--------------------------------------	----------------------	-------------------------	------------------------

*2 正常分娩で3か月齢のお子さんの場合、妊娠から分娩までの週数(40週)に産後の週数(12週)を加えた期間(修正在胎)は52週になります。通常より早い出産の場合は、3か月齢であっても修正在胎52週まで本剤の使用はできません。

質問 先にマリナーを中心としたまちづくりを

答弁 北側の整備を進めMICEとの相乗効果を期待——町長



質問 発想の転換で、先に与那原マリナーを中心としたウオーターフロントのまちづくりを実現し、併せて大型MICEを引っ張る、これこそ構築に繋がるのではないのか。

質問 饒平名企画政策課長 水辺周辺空間を活用した環境整備を全体のビジョンとして提示、人と人、現在と未来を繋ぐまちとして計画し整備していく予定。

金城まちづくり課長 県と連携し、賑わいのあるまちづくりを検討していきたい。

競技力向上の為に

補助金申請を

質問 県では競技力向上に活用できる「スポーツアイランド沖縄事業」、スポーツ庁では「地域スポーツ人材活用事業」の補助金があり、外部指導者の招聘が可能とあるが、

与那嶺生涯学習振興課長 実施主体が競技団体。県と関係団体と連携しながら取り組みたい。

駅舎など活かして ブランディングを

質問 軽便与那原駅舎資料館の有料入館者数の推移は。

桑江ブランド推進課長 コロナ明けの2023年に2100人、2025年は4166人と着実に増加。駅舎新聞、SNSの情報発信、学芸員の丁寧な説明、指定管理者の自主的な取り組みなど相乗効果がある。

質問 執行部は、今後、駅舎と与那原大綱曳資料館、観光交流施設

の3施設を一括して指定管理を行う方向だが、ガイドラインは。

桑江ブランド推進課長 ヒアリング、アンケートを行いまとめているところ。

質問 未作成では困る。総務省が掲げる指定管理者制度ガイドラインの「専門性の確保」の原則に則って作成してほしい。また現予算では運営体制を維持することに不安がある。スタッフ削減や休館を余儀なくされる状況になった場合の対応は。

桑江ブランド推進課長 与那原駅舎は、戦前戦後の公共交通の歴史も伝える大切な施設。スタッフ体制を含む適切な運営水準の確保について協議していきたい。



その他の質問

- 町長の平和行政、平和教育理論について
- 防災授業について

町政へここが聞きたい!



しろ ま ゆう き 議員
城 間 優 希

質問
町単独予算で防犯カメラの更新を

答弁
危険性の高い場所から次の補正予算で設置する — 町長

質問 町内公園における、防犯カメラの設置場所及び目的について伺う。

吉野生活環境安全課長 設置箇所については、公園トイレ付近。目的は、死角になりやすいトイレの出入りを記録することで、安全対策に繋がる。

質問 東浜の公園で、備品が燃やされる放火事件があったが、防犯カメラ映像から犯人特定にいたったのか。

吉野生活環境安全課長 10年ほど前のカメラなので、夜間の視認性が

悪く、犯人特定にいたっていない。

質問 実効性の高い防犯カメラの設置が必要と考える。補助金や、単費を使っても更新、新設するべきだと考えるが、本町の考えを伺う。

照屋町長 補助金も探りつつ、単費なども使い、危険性が高い箇所から、次の補正予算で措置をしてまいりたい。



備品が燃やされた
東浜公園

防犯カメラの新設で
安心・安全な町へ!

若年層への

薬物対策強化を!

質問 今年に入り、与那原署管内でエトミデートによる中学生逮捕事案が発生した。12月定例会以降、教育委員会として、新たにどの

様な取り組みを行ったか。

照屋健康保険課長 町ホームページでの周知や、警察、防犯協会と連携し、青色パトロールを実施。防犯チラシ配布や保護者向け文書配布も行っている。

質問 学校現場では、エトミデート等の危険薬物についてどの様な教育を行っているのか。

大浜教育指導主事 警察や文部科学省の資料を活用し、全学年で未然防止教育を実施。警察署職員による薬物乱用防止教育も行った。

実践的な金銭教育を!

質問 本町小中学校における、キャリア教育や金銭教育の取り組み状況は。

大浜教育指導主事 各学校で発達段階に応じたキャリア教育を実施。東小学校では、外部講師を活用した授業を行い、中学校ではライフプランナーを招いた授業実績

がある。

質問 今後も外部専門家を活用したライフプラン教育を導入し、継続する考えはあるか。

大浜教育指導主事 進学費用の仕組みなど、社会のリスクを正しく理解することは将来の自立に向け、極めて重要な基盤となる。教育委員会では、この重要性を重く受け止め、ライフプラン教育を小学校段階からの導入を引き続き検討していきたい。



将来の夢と目標のために
生活設計能力を
身につけよう!

その他の質問

● 町内小中学校の冷水機について

質問 上の森公園Park-PFI事業の再検討を

答弁 再検討の期間はあるが現提案も理解いただきたい — まちづくり課長



まつなが こうじ 議員 松長 康二

事業は理解するが、道路拡張構想は残っている。そこを明確にしたうえで、事業化をするべきでは。また、テニスコートと

Park-PFI事業における特定公園施設の位置づけで、ゲートボール場とテニスコートは事業

質問 今回の事業説明のなかで、コンビニエンスストアの提案があったが、庁舎からオリオン通りまでの道路拡張構想がある中で、上の森公園Park-PFIとの整合性について、本町の考えを伺う。

金城まちづくり課長 道路構想の位置づけはあるものの、具体的なレイアウトはまだ決定してない。現道をベースに設計の際、レイアウトについては道路事業実施の際に検討していきたいと考えている。

質問・提言 道路拡張構想が無いのであれば、今回のPark-PFI

で取り壊しされた際に、別の場所につけてほしいとの要望もあった。今回、上の森公園のテニスコートを移設するのであれば、ソフトテニスコートを、もう1つ造るといっても一案ではないかと思うが、今回の移設費用はどのようになっているのか。

金城まちづくり課長



者が整備する。それらを完成後に本町が買い取ることになっている。事業の公募対象施設を事業者が1割を負担して、残りの9割は町が負担するが、9割のうち2分の1が国の補助対象となる。仮にテニスコートを2面で位置づけた場合公園の面積や、事業者の参入度合いの制限が大きいと考えているため、現時点では2面での整備は考えていない。

質問 令和8年度で、公募準備・公募指針の配布・提案書の受付・事業者の選定が行われると説明資料にはあるが、本員が提案している部分は検討する時間はあるのか、ないのか、その答弁をいただきたい。

金城まちづくり課長 8年度予算を取っているなか、9年度までの繰越では事業執行できなくなってしまうので、繰越にならない程度であれば、考える時間はあると思うが、現状の案でご理解いただきたいと思っています。

その他の質問

- 庁舎、敷地内を含め、喫煙所を設置するべきではないか

町政へここが聞きたい!



ちねんまさなり 知念正成 議員

質問 脱炭素事業の評価と実施状況は

答弁

太陽光発電設備や蓄電池の導入 照明のLED化などを実施 — 企画政策課参事

質問 今年度10億円余りの予算が計上された脱炭素事業の実施状況は。また、環境省の脱炭素地域に選定された現段階の評価は。

安慶田企画政策課参事 交付金を

活用した令和5年度から、公共施設、民間施設に太陽光発電設備の設置、照明のLED化などを実施している。年間約1000トンの二酸化炭素削減の予定で、先行地域の脱炭素ゼロの達成率は11%となっている。今年度は、太陽光発電設備に4億6000万円、蓄電池に3億9000万円、省エネ家電

(LED・エアコン等)に7000万円を計上している。



世界初となる小型水力発電機の量産化実証実験中(与那原マリナ岸壁)

財政運営と将来負担

質問 一般会計予算が113億円余りで、収支不足分8億円を財政調整基金から補填しているが、今後、若い世代に負担を負わすのではないのか。

新垣財政課長 財政調整基金は、年度間の収支の調整のために積み立てた「本町固有の貯蓄」であり、

地方債(借金)とは異なり、将来世代への負担増には繋がらない。

利便性の高い交通手段

質問 「与那原町地域総合交通戦略後期に取り組む」とあるが、公共交通の主体をどのように考えているのか。

饒平企画政策課長 今後の新たな公共交通の主体として、モノレール、LRT、BRTや自動運転など、環境にやさしい気軽に移動できる交通手段を、南部市町村連携交通会議等を活用し検討する。

窓口業務の改善

質問 「身近で信頼される窓口」「誠実で親切な対応」とあるが、効率の良い方法とは。また、1月から実施した働き方改革(窓口受付時間短縮)についての効果は。

岡総務課長 手続きの際、複数の

窓口を歩き来るといった、住民の負担を軽減するため「書かない、待たない、回らない」ワンストップサービス窓口の実現に向け取り組む。また、窓口受付短縮については、超過勤務時間と比較した場合、住民課、税務課、福祉課及び健康保険課の窓口業務が減り、一定の効果が出ている。今年度で1カ月60時間以上超過勤務が10人いる状況である。

地域振興券で返礼品を

質問 「2026与那原町つなひきかちゃん商品券」をふるさと納税の返礼品として使用できないか。
桑江ブランド推進課長 返礼品として提供することは可能である。本町では町内で使用できる「Pay Pay商品券」や「ジェフ沖繩お食事券」など、返礼品として取り扱っている。

その他の質問

- マリーナ隣接地への宿泊施設誘致の推進
- 地域農業者への支援策
- 老人ホームおよび介護サービスの需要実態把握

ヒーロー・ヒロイン



まつかわ
松川 そら (江口区) 那覇国際高校陸上部3年生



国民スポーツ大会 2025年10月
陸上少年女子A三段跳び
自己ベスト **12m37** を記録



主な成績

- *第79回 国民スポーツ大会少年女子A三段跳優勝
- *第78回 全国高等学校陸上競技対校選手権大会走幅跳出場

プロフィール

*与那原東小学校、与那原中学校、那覇国際高校へ進学。
昨年10月の国民スポーツ大会陸上・少年女子A三段跳びで、自己ベストの12m37を記録し優勝。競技歴わずか半年で日本一に輝き、沖縄県勢として同種目初の快挙となりました。

Q 優勝した瞬間の気持ちは。

国民スポーツ大会では、自己ベストを出して決勝に残ることを目標にしていたので、優勝した時は「まさか自分が」と、とても驚きました。最終跳躍では、楽しく跳躍しようと、あまり緊張せずに臨めたことが良い結果につながったのだと思います。

Q 競技を始めたきっかけは。

同じ那覇国際高校の陸上部に、走幅跳と三段跳をしている憧れの先輩がいて、南九州大会に同行した際、とてもかつよくて「自分も始めてみたい」と思い、まずは走幅跳から、その後に三段跳も始めました。三段跳は、跳躍部分のタイミングが上手くハマった時に、体がスッと前に進んでいく感覚があり、そこが三段跳の魅力だと思います。

Q 普段の練習や苦しかった時期をどう乗り越えましたか。

跳躍は本当に初心者からのスタートだったので、日々の練習に集中して取り組みました。平日に走りの練習、休日に跳躍の練習をしており、その中で基礎のトリルを徹底して、課題を一つ一つ克服できるように努力しました。

大会になるとなかなか記録が伸びない苦しい時期もありましたが、記録を意識するよりも、楽しんで思い切り跳躍することを大切にしたら、大幅に記録を伸ばすことができました。

Q これまで支えてくれた人への思いを聞かせて下さい。

大きな舞台で優勝できたのは、日々の練習に付き添ってくださる監督や両親、祖父母をはじめ、多くの方の支えと応援があったからだ強く感じています。これからも感謝の気持ちを忘れず、全力で頑張ります。

Q 高校ラストイヤーに向けての抱負は。

悔いが残らないようすべての大会に全力で取り組みます。インターハイ、国民スポーツ大会では全国一位を狙っていきます。

Q 与那原町の皆様へメッセージを。

与那原町は、与那古浜公園の陸上競技場や、町役場の近くの観光交流施設など、スポーツに打ち込める環境がとても整っていると感じています。恵まれた環境の中で、与那原町の子どもたちや多くの方にスポーツの楽しさを感じてもらい、地元のスポーツがさらに盛り上がってくれたら嬉しいです。

第21回 沖縄県議会広報コンクールで **優 秀 賞**



町村議会広報コンクールで、昨年の12月号が優秀賞を獲得しました。
『広報委員会』議会』。この言葉は我々6名で決めた行動指針です。議会で決定した町民のための取り組みをキチンと伝えることはもちろん、全てをしつかり公開することで町民の信頼を得ることが大切だと考え設定しました。
今回の受賞は、議会全体への評価だと言えます。そして、広報に対するご意見を下さった町の皆さまに対しては感謝の思いでいっぱいです。より沢山の町民に議会だよりを読んでいただけるよう、委員6名、力を合わせこれからも頑張ります。